

【後期優秀作品 サブテーマ① 平野・干潟（佐賀・福岡）と雲仙岳】



応募者：大坪 俊治さん（佐賀県小城市在住）

タイトル：干潟の野鳥と雲仙岳

撮影場所：佐賀県佐賀市東与賀付近 撮影時期：2016 年 1 月 14 日

コメント：ラムサール条約登録地、佐賀市東与賀干拓から望む雲仙岳です。冬空のどんよりした天候の中、今年も沢山の渡り鳥が飛来しています。野鳥を背景に雲仙岳を取り込みました。佐賀平野から望む雲仙岳は涅槃像のお腹の様です。



応募者：福田 幸夫さん（佐賀県吉野ヶ里町在住）

タイトル：天空の蓬莱山

撮影場所：吉野ヶ里歴史公園 撮影時期：2015 年 11 月 11 日

コメント：吉野ヶ里から雲仙までは 60 キロもありますので、天気の状態が良くないとなかなか見れる機会はありません。今回は天気に恵まれましたので、展望のいい南内郭の物見やぐらの上から撮影しました。吉野ヶ里の環壕集落内の北内郭に建つ主祭殿は、雲仙が真南になるように設計して建てられています。これは、三世紀の吉野ヶ里の人々が雲仙を神の山と崇めていたからではないでしょうか。今も昔も雲仙は偉大な山です。そんな思いで撮りました。雲仙岳の形状は、雲に浮かんだ神秘の山のようです。





応募者：加藤 光夫さん（福岡県太宰府市在住）

タイトル：出漁Ⅰ

撮影場所：福岡県大川市 撮影時期：2015 年 10 月 3 日

コメント：雲仙岳は柳川沖の端の方言では“どんばらさんが寝とる”と、子どもの頃は言っておりました。“どんばらさん”とは“妊婦さん”との意味です。漁師は、海の神様は“女神”ですから、自然に船の安全と豊漁を祈って、言っていたのではないかと思います。今日有明海は多くの課題を抱えております。今日有明海は多くの課題を抱えております。我が実家は漁師一族ですので、日頃から昔の豊穰の海に再生することを願ってやみません。常日頃有明海に関心を持ちながら、行末に思いを馳せながら撮影しております。





応募者：平河 剛さん（福岡県大牟田市在住）

タイトル：炭都から見える険しい雲仙岳

撮影場所：大牟田市黄金町潜塚古墳 撮影時期：2015 年 12 月 18 日

コメント：左隅に近代世界遺産三池炭鉱・万田坑のヤグラが見える。雲仙岳の形状は、出産前の妊婦さんのように見える。